

警告！マイクロ波、超音波、レーザー兵器等、見えない武器を使っての組織犯罪...子供までもがターゲットに

テクノロジー犯罪

テクノロジー犯罪とは、超音波、マイクロ波、レーザー等の目に見えない兵器を遠隔から人体にピンポイントで照射して痛みを与えたり、あらゆる病気を作り出します。内臓、筋肉、骨、神経、脳活動への攻撃。原因不明の皮膚の炎症、傷、水ぶくれ。針で刺したような痛み。電気が走ったような痛み。骨が圧迫されるような痛み。手、足の痺れ。手、足、顔の異常な浮腫み。頭痛、歯痛、耳鳴り、難聴。目のかすみ、違和感、痛み。陰部の違和感、痛み。血圧の乱れ、動悸。痛みも、その強弱も自由にコントロール可能。

マイクロ波攻撃

最も短い波長で強い直進性があり、熱を発生する力が強く、ピンポイント照射で相手にダメージを与える。

超音波攻撃

レーザーを使って、超音波(高い周波数の音圧)を発生させ、ピンポイント照射で相手にダメージを与える。超音波は、一般的には、内臓の結石を打ち砕いたり、鉄やガラスの研磨にも使われており強力な力を持っています。

この犯罪は、365日24時間継続的に監視、追跡して個人を付け狙い、秘密裏に罪のない一般市民に対して組織的犯罪を行っています。

レーザーで居場所を特定出来、攻撃は24時間で秒単位、毎瞬時行われ続ける被害者が多いのです。

なぜ大勢の人がいる中で、ターゲットのみに伝わるのか? 個人の周波数は、人それぞれ違うと言う研究結果がある。ですから、大勢いる中でターゲットのみに伝わるようです。

毛穴には、大量の粒子が入っていて、粒子の成分を調べた結果、シリコン・マンガン・チタン・鉄であることが調べた結果、確認できています。これらの成分は、半導体の材料になります。

動物等の位置確認・行動範囲を把握するために、マイクロ波チップが使われております。マイクロ波チップは、半導体です。被害者の居場所を特定するのに、マイクロ波チップ(粒子)が使われている可能性も考えられ、皮膚下にある粒子に照射する事により痛みが出るのです。

帯電物質の役目もあると考えられます。多くの方が被害を訴えていて日本全国で、およそ3000人程の被害者が存在する事が確認されています。気が付かないまま攻撃を受けていると思われる日本国民は、相当数いると推測出来ます。

身を守る為アルミ等を防御に...

目に見える証拠! 突然瞬時にして出来る原因不明の様々な傷跡。



被害者共通の現象

- *サーモグラフィーで痛みの患部を測定すると、画像が真っ赤になる。(熱を持っていると言う事が分かる。)
- *自宅で電磁波測定器(高周波、磁場)の値が高い *帯電測定器の値が高い。
- *痛みのある場所に手をかざすと、痛みが止まる。(内部からの痛みでない事が分かる。)
- *磁石で痛みの患部を防御すると、痛みが軽減する。(マイクロ波は、電界と磁場が交互に作用し合って伝わるため。)
- *自宅で写真を撮ると、光が写る場合がある。(赤外線は、目に見えないがレンズを通すと写る。そのため赤外線を使用している可能性がある。)
- *自宅にあるペットボトルの水に、気泡が出来る。(水に超音波をあてると、気泡が出来る現象が研究結果で確認されている。キャビテーション現象)
- *自宅での方位磁石が、とんでもない方向を向く(室内の磁場が乱れていることが分かる。)
- *自宅内にある果物が瞬時に縮れたり、切れたり、焦げた斑点があつたりする場合がある。(熱があてられている事が分かる。)
- *観葉植物が早期に枯れる。(熱をあてられていた可能性がある。)
- *持ち物や衣服に、見知らぬ穴が開いている事が多い。(熱をあてられてた可能性がある。)
- *毛穴から大量の粒子が出て来たり、粒子が皮膚表面に浮き上がる事がある。
- *自宅の床に、幾つもの粒子が落ちていたりする事がある。



海外では...

2020年：キューバと中国の米大使館員の頭痛等の体調不良を『ハバナ症候群』と電磁波超音波によるものと認定



アメリカ

2004年：ミシガン州、メイン州、マサチューセッツ州で法規制。

2008年：エレクトロニックハラスメント(テクノロジー犯罪)の裁判で原告が勝訴した。

2017年：他国でアメリカ大使館とその家族が音波、マイクロ波による攻撃を受けていた事を発表。

2018年：米国、音波攻撃の対策チーム結成を明らかにした。

イギリス

2020年：日刊紙による他国のアメリカ大使館への事件に関する報道。

ロシア

2001年：下院で、「マイクロ波ウェーブ、超音波、光」を武器に相当すると認める法案を可決。

ポーランド

2016年：メディアで、エレクトロニックハラスメント(テクノロジー犯罪)の事が取り上げられる。

日本

1997年：武器としての電波の悪用を糾弾する！の著書が発行される。

2017年：主要な新聞による、他国のアメリカ大使館への攻撃に関する報道。

国連では...

2020年：エレクトロニックハラスメント(テクノロジー犯罪)の事が正式に認証される。

#エレクトロニックハラスメント

Electronic Harassment 証言!

カール・クラーク氏(元CIA諜報部員)：20年ほど前からレーダーで追跡、マイクロ波兵器の使用を証言。

バリー・トロワー博士(元MI5-英国保安局、マイクロ波の専門家)：

マイクロ波の生態効果は1976年には明らかになっていた。マイクロ波で様々な病気を誘発出来ることを証言。

日常生活を送る一般人がある日突然ターゲットになり被害に遭うようになります。

多くの方が、テクノロジー犯罪によって人権を侵害されているのです。

全ての人にとって、他人事ではない事を知って下さい。

攻撃によって出来た傷! (写真は、数多く寄せられた内の一部です。) 顔への傷は、何故か女性ばかり...

